

夜間飲食店、雇止め労働者などに給付金



12月21日 県労連の「コロナ危機から県民の命と暮らし、雇用と営業を守るための要請」に同席



12月定例会閉会

補正予算など全議案が
全会一致で可決成立

県議会12月定例会は、12月1日から18日まで開催され、補正予算を含む全議案が全会一致で可決成立しました。補正予算は、人事委員会勧告に伴うボーナス引き下げなどの人件費減額補正と7月豪雨への対応、解雇、雇止めされた労働者への5万円の給付金の増額補正となっております。

さらに追加補正予算として▽政府の「ひとり親臨時給付金」の再支給

▽新型コロナウイルス感染者が自宅療養になった場合の食糧などの提供

▽夜間営業の飲食店や運送代行業に対する20万円〜30万円の給付金が盛り込まれました。

※県の一般職員のボーナス引き下げの条例は11月25日の臨時議会で提案され、日本共産党県議団は、「手当の削減は、保健所や病院などの最前線の現場も含めて、新型コロナウイルス感染症拡大防止に奮闘してきた職員への使命感に冷や水を浴びせる。会計年度任用職員も一般職と同様に引き下げられる。」として反対しました。

（関係者が反対討論）

コロナ対応に緊迫感

厚生環境常任委員会

12月5日

11月から12月、県内で感染者が連日出て拡大している現状と今後の対応について医療統括官の見解を質問したのに対し、「増加の一番の理由はお酒を介した会合、村山地

2021年1月1日 IV-21

◇発行◇
日本共産党県議会議員
渡辺 ゆり子

<連絡先>
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3241(受付)
自宅：山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365

域ではスナック、バーでのクラスターの連鎖、高齢者のマスク着用が絡んでいる。高齢者は宿泊療養ができず病院入院とならざるを得ない」「患者増加に伴い専用病床利用率が上昇し、圏域を越えた調整が必要になっている。院内感染は一つの病院で対応できず応援体制が必要」など緊迫感ある報告がなされました。

私は、最前線に対応している関係者に敬意と感謝の意を表明しつつ、県民にこの現状を発信するとともに国に必要な要請を行うことも含め、感染拡大防止に全力を挙げるよう発言しました。

年末年始 相談体制強化を

コロナ禍で生活困窮者の

相談が増えることが予想されます。私は、年末年始の相談体制の強化を求めるとともに、生活福祉貸付資金のコロナ特例貸付について受付期間や貸付期間の延長を国に求めるよう発言しました。

県担当者は、「市町村や

ゆり子の視点

2020年〜
2021年へ

コロナ禍で苦しむみなさんの声を力とりに大切にする小規模事業者、ひに働いていきます。政治への転換をめぐり親家庭など多 年明けから県知ざして総選挙に臨むの方々のお話を聞き、選挙と県議補欠選 みました。

豪雨災害や新型コロナウイルス感染症に迫られる現場で働いてい守る」立場を表明みなさんに感謝した2020年、国る皆さんの話から明している現職のながら、2021への対応も含め県は切迫感が伝わっ 自主的支援を決定 年もせいっぱい議会でも臨時会の開 てきました。

催や補正予算の追 みなさんの声をす。そして、その どうぞよろしくお加がこれほど多く 議会発言や県要請 後に必ずあるのは 願います。行われた年はあり につなげてきまし 総選挙です。「自己

7月豪雨で浸水 続いていきます。引を押しつける自民被害を受けた方や 続き2021年も 党政権から一人ひ



請願審査本音

12月議会へ新たな請願が

2件提出されました。

①東京電力福島第一原発事故により発生したALPS

処理水の海洋放出を行わな

いよう求める意見書の提出

（県政クラブ5名が紹介議

請願審査本音

（県政クラブ）が

「政権の処分決定の

意向にともない緊急を要す

る」として採択を主張する

討論を行いました。本会

議では14対27で継続審査と

12月18日討論を行う渡辺ゆり子県議



政クラブ2名が採択を主張

しました。本会議では、私、渡

辺が「消費税増税にコロナ

感染が追い打ちをかけてい

る。願意妥当」と討論の中

で主張しました。採決の結果、12対29で（自民党など）

で不採択となりました。

厚生常任委員会では、私

総務常任委員会では、県

